



前部リモート油圧キット

サンドプロ/インフィールドプロ 5040 トラクションユニット用

モデル番号08782

取り付け要領

注 サンドプロ/インフィールドプロ 5040 に後部リモート油圧キット Model 08781 および前昇降フレーム Model 08712 が装備されている必要があります。

注 前後左右は運転位置からみた方向です。

付属部品

すべての部品がそろっているか、下の表で確認してください。

ステップ	内容	数量	用途
1	必要なパーツはありません。	-	マシンの準備を行います。
2	必要なパーツはありません。	-	油圧オイル・タンクからオイルを抜き取ります。
3	必要なパーツはありません。	-	左後ろのタイヤとシュラウドを取り外します。
4	90° エルボ・フィッティング	2	バルブにフィッティングを取り付けます。
5	カップラ・アセンブリ ネジ ナット	1 2 2	前昇降フレームにカップラ・アセンブリを取り付けます。
6	油圧ホース	2	油圧ホースを取り付けます。
7	必要なパーツはありません。	-	全部の接続部を締め付けます。
8	必要なパーツはありません。	-	油圧オイルの量を点検しオイル漏れのないことを確認します。

1

マシンの準備を行う

必要なパーツはありません。

手順

機体全体をていねいに洗浄する。取り付けブラケットを正しく取り付けられるように、また油圧装置内部に絶対に異物が入らないように機体についている汚れをすべて落とす。

2

油圧オイル・タンクからオイルを抜き取る

必要なパーツはありません。

手順

油圧オイル・タンクからオイルを抜き取ります。抜き取りの手順についてはマシンのオペレーターズマニュアルを参照してください。

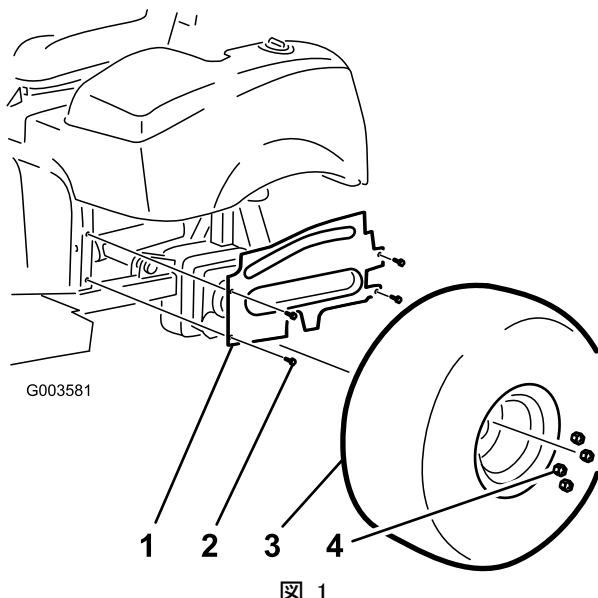
3

左後ろのタイヤとシュラウドを取り外す

必要なパーツはありません。

手順

- マシン後部を床から持ち上げて角材などで支える。マシンのオペレーターズマニュアルの「ジャッキ・アップ」の項を参照のこと。
- 左後ろのタイヤを取り外す。
- 左側ホイール・シュラウドをフレームに固定しているフランジ・ヘッド・ネジを外す（図 1）。シュラウドを取り外して保管する。



1. 左側ホイール・シュラウド
2. フランジ・ヘッド・ネジ
3. タイヤ
4. ナット

- センター・シュラウドをフレームに固定しているソケット・ヘッド・ネジを外す（図 2）。シュラウドを取り外して保管する。

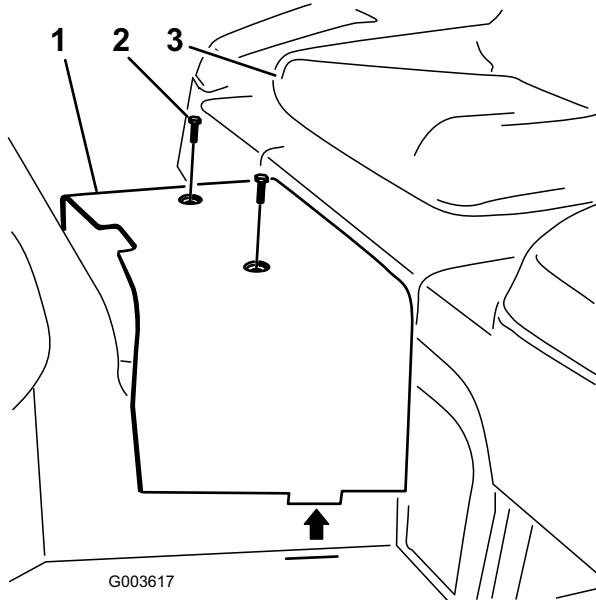


図 2

1. センター・シュラウド
2. フランジ・ヘッド・ネジ
3. 運転席

4

バルブにフィッティングを取り付ける

この作業に必要なパーツ

2 | 90°

手順

注 どのフィッティングも油圧ホースも最初はゆるく仮止めし、全部の部品を取り付けた後で本締めします。各フィッティングは図に示すような角度で取り付けてください。

注 全部のOリングをきちんと潤滑し、各フィッティングの正しい位置にセットしてから取り付けてください。

- 後リモート油圧バルブからキャップ・プラグ 2つを取り外す（図 3）。

注 プラグをゆるめるときには、レンチを 2 本使ってバックアップすること。

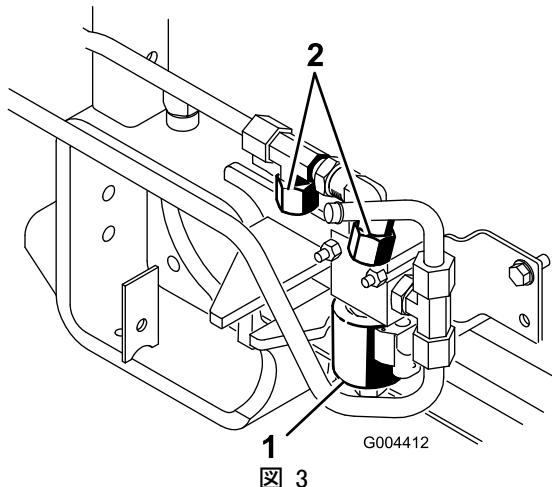


図 3

1. 後部リモート油圧バルブ 2. キャップ・プラグ

2. バルブに90度エルボ・フィッティングを図のような角度に取り付ける(図4)。

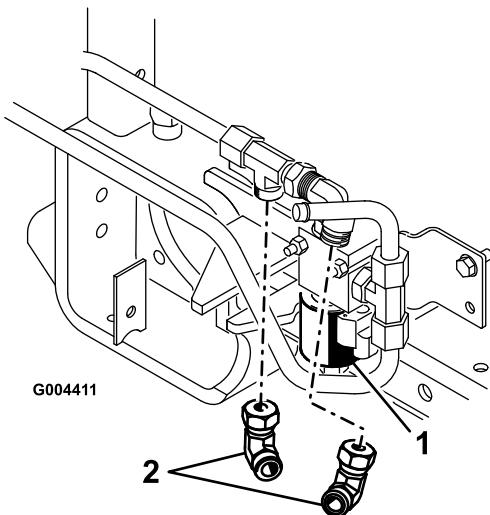


図 4

1. 後部リモート油圧バルブ 2. 90° エルボ・フィッティング

5

前昇降フレームにカップラ・アセンブリを取り付ける

この作業に必要なパーツ

1	
2	
2	

手順

ネジ2本とナットを使って、カップラ・アセンブリ取り付けブラケットを前昇降フレームのチューブに取り付ける(図5)。

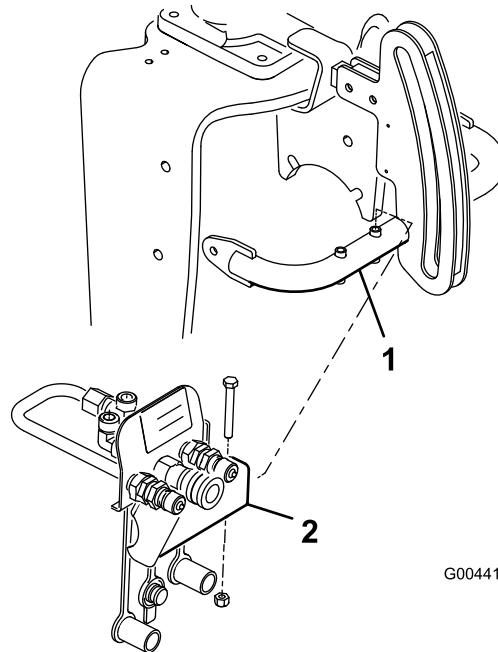


図 5

1. 前昇降フレームのチューブ 2. カップラ・アセンブリ取り付けブラケット

6

油圧ホースを取り付ける

この作業に必要なパーツ

2

手順

注 どの油圧ホースも最初はゆるく仮止めし、全部の部品を取り付けた後で本締めします。

1. 長い油圧ホースの、スイベルのついている方の端をカップラ・アセンブリの

エルボ・フィッティングに取り付ける（図 6）。

2. 短い油圧ホースの、スイベルのついている方の端をカップラ・アセンブリのT字フィッティングに取り付ける（図 6）。
3. 各ホースをホース・ガイドに通し、バルブへ導く（図 6）。
4. 長い油圧ホースバルブの後部フィッティングに取り付ける（図 6）。
5. 短い油圧ホースバルブの前部フィッティングに取り付ける（図 6）。

注 ホースの取り付け方を間違うとアタッチメントを破損する恐れがありますから注意してください。

注 どのホースも周囲とこすれ合わないよう配置してください。ホース同士がこすれあう場合には、適切に固定してください。

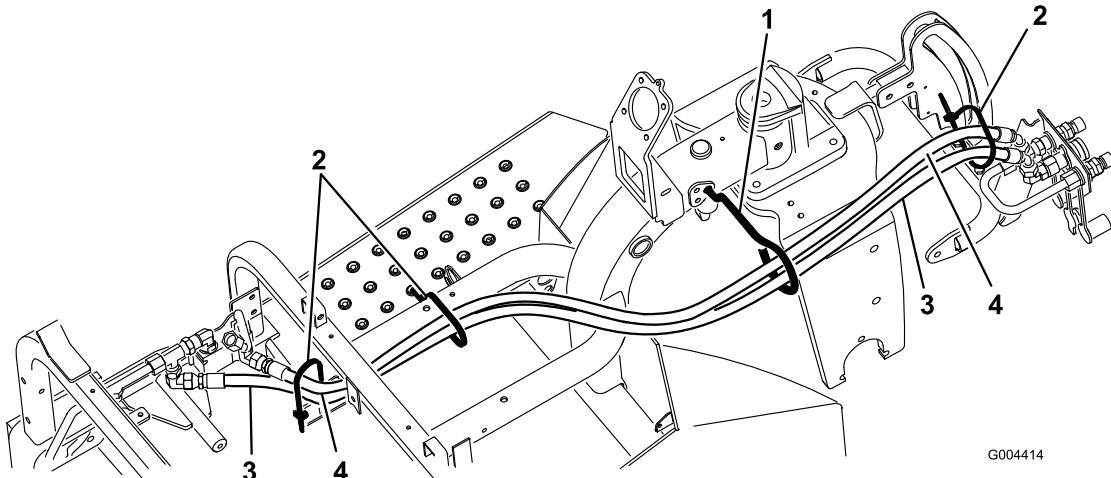


図 6

1. ホース・ガイド
2. ケーブル・タイ

3. 長い油圧ホース
4. 短い油圧ホース

7

全部の接続部を締め付ける

必要なパーツはありません。

手順

注 各ホースが周囲のもの、特に、鋭利な部分、高温になる部分、可動部に当たったり触れたりしていないことを確認してください。

1. 油圧ホースの接続ができたら、各接続部の締め付けを行う。
2. ケーブル・タイを使って、図 6のようにホースを固定する。

8

油圧オイルを入れ、リークがないか点検する

必要なパーツはありません。

手順

1. 油圧オイル・タンクについているディップスティックを取りだしてきれいに拭く。
2. ディップスティックをタンクに差し込んで引き抜き、油圧オイルの量を確認する（図 7）。
3. 残りのオイルをゆっくり足してFULLマークまで入れる。

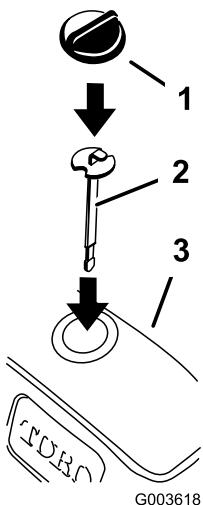


図 7

1. 油圧オイル・タンクのキャップ 3. 油圧タンク
2. ディップスティック

4. エンジンを始動し、5分間運転する。
5. 油圧オイルのリークがないかボール紙を使って点検する。高压で噴出する作動油は皮膚を貫通し、身体に重大な損傷を引き起こす。

注 各ホースが周囲のもの、特に、鋭利な部分、高温になる部分、可動部に当たったり触れたりしていないことを確認してください。



高压で噴出する作動油は皮膚を貫通し、身体に重大な損傷を引き起こす。

- ・ 万一、油圧オイルが体内に入った場合には、この種の労働災害に経験のある施設で数時間以内に外科手術を受ける必要がある。処置が遅れると傷口が壊疽を起こす危険がある。
- ・ 油圧のピンホール・リークやノズルからは作動油が高压で噴出しているので、絶対に手などを近づけない。
- ・ リークの点検には新聞紙やボール紙を使う。
- ・ 油圧関係の整備を行う時は、内部の圧力を確実に解放する。
- ・ 油圧を掛ける前に、油圧ラインやホースに傷や変形がないか接続部が確実に締まっているかを確認する。

6. 前シラウドをフレームに取り付ける（外してあったフランジ・ヘッド・ネジを使用する）。
7. 左側ホイール・シラウドをフレームに取り付ける（外してあったフランジ・ヘッド・ネジを使用する）（図 8）。
8. 左後ろのタイヤを取りつける（図 8）。

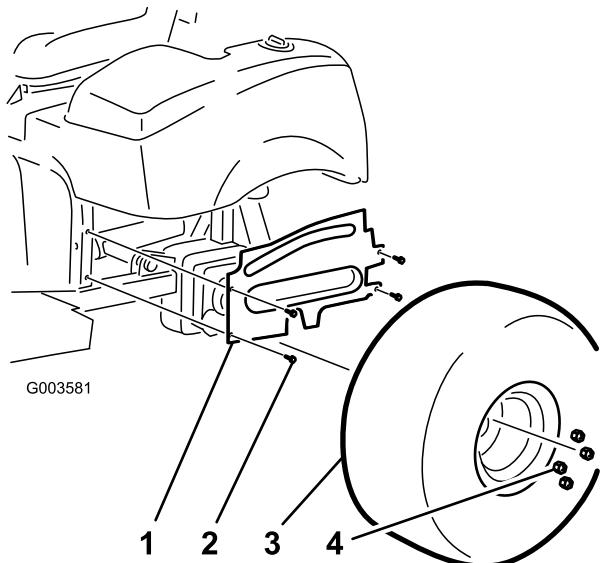


図 8

- | | |
|-----------------|---------|
| 1. 左側ホイール・シュラウド | 3. 左タイヤ |
| 2. フランジ・ヘッド・ネジ | 4. ナット |

9. マシンを床に下ろす。

注 前リモート油圧キットと後リモート油圧キットは同時に使用しないでください。



Count on it.